

# 2025年度メリーゴーランド保育園事業計画書

## I. 基本方針

### 理念

「にんげん力。育てます。」

### 子育て目標

「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

法人の理念・目標に基づき保護者・地域・保育園が相互に関わりながら中板橋ルームを知ってもらう場を作り地域の方々と共に保育を行っていく。

子ども自身が自分で選択し、わくわくする経験を重ね、ホンモノの体験と労働に触れながら生活力の基盤づくりをしていく。

#### ・私たちが育てている6つの力

- ① けがをしない強い体を育てる（裸足保育・座禅・雑巾がけ等）
- ② 自分でできることを自分でする（畑仕事・縁側給食等）
- ③ 全ての人との関りから判断・行動に身につける（青空保育・商店街ツアー等）
- ④ 活動を選択し自分で考えて行動する（火と関わる・水と関わる等）
- ⑤ 生死をする 食の循環を知る（生死教育・食材と食の循環を知る等）
- ⑥ 感じたこと・考えたことを表現する（言葉を表現する・描く・つくる等）

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生き物の世話
	実践予定内容	身近な生き物の世話をする必要性や意味、生死を知り、命の循環を学ぶ
2	計画・ねらい	10の姿の体得
	実践予定内容	全職員が10の姿の内容を把握することができるよう会議内で学びを深めていき保育へ取り入れる
3	計画・ねらい	労働以外の時間を自然や街の中を練り歩く
	実践予定内容	しなければならないことを自覚し自分の仕事が出来るようまずは職員が見本となり、子ども達が充実出来る日々にする

### 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者がいつ保育体験をしても気持ちの良い園にする
	実践予定内容	美観に意識を向ける。施設入口をはじめ施設内はいつでもきれいにし気持ちの良い施設を保つことと来訪者目線に立つ。
2	計画・ねらい	家庭との連絡を密に取る
	実践予定内容	どんな時でも相談しやすい環境にし、信頼できる保育を行う。
3	計画・ねらい	ホンモノの体験と労働にこだわる

	実践予定内容	子ども自らが選択しやってみる事を実現できるよう、たくさんの経験を出来る保育にする。
--	--------	---

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育実施し地域の方々の遊び場にする
	実践予定内容	気軽に立ち寄れる保育園にすることでコミュニケーションが深まり情報交換のしやすさ、行き来出来る環境にする。
2	計画・ねらい	いつでもご案内ができる環境へ
	実践予定内容	戸外先で出会えたことをきっかけに自園をアピールし大切な思いを伝え、園に迎え入れる。

### 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	得意な分野を活かす
	実践予定内容	得意分野を活かした保育ができるよう、スタッフのモチベーションが上がるサポートをしていく
2	計画・ねらい	園会議等を活用し自ら研修を開く
	実践予定内容	自分しか持っていない学びを職員へ周知し、職員のにんげん力へつなげる

### 〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	コンポストで作った堆肥を使って野菜を育てる
	実践予定内容	毎日コンポストの様子を子どもたちと確認し、できた堆肥を使って畑を作り野菜を育っていく
2	計画・ねらい	好きな時に好きな遊びができる環境づくり
	実践予定内容	年齢や発達に合った環境を定期的に確認し、子どもたちが遊びたいと思える環境づくりを行う

### 〈6〉 日課の充実

1	計画・ねらい	畠仕事
	実践予定内容	農業計画で立てている作物を計画的に行う。毎日大人と子どもで一緒に畠仕事を行う。
2	計画・ねらい	さくらさくらんぼリズム
	実践予定内容	まずは、大人が見本となるように正しい動きを共に行う。身体機能の発達を促すために園児の体調を確認する。
3	計画・ねらい	座禅・雑巾がけ
	実践予定内容	毎朝1分の座禅を行い、一日の始まりに「静」を取り入れる。 雜巾がけでは転んでも自分の体を支える事が出来る徒手力を身に付けていく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	合計
6人	7人	7人	20人

### 〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	3人	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	2人	調理	0人

## 3. 運営方針

### 〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	コンピテンシー・園長大学視聴・子どもの姿共有・行事確認
給食運営会議	月1回	離乳食形状等共有・アレルギー児の情報共有
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・法人内事故の共有
ケース会議	月1回	子どもの成長や支援の確認
担任週会議	週1回	保育、行事計画立案・子どもの姿共有

### 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	園の状況報告・業務報告・ディスカッション
施設長勉強会	月1回	施設長研修・ディスカッション

食育会議	年4回	食育活動の共有・マニュアル改定・情報共有
保健会議	年4回	保険活動の共有・マニュアル改定・情報共有
主任会議		該当なし
子育ての質を上げる会議	月1回	各園の取り組み発表やディスカッション

### 〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生管理点検表の確認・安全衛生管理・備品管理
安全対策係	設備点検チェックの確認・安全推進管理
防火管理者	避難訓練の立案、実施・設備の防災管理
食品衛生責任者	食品衛生に関する管理、食育計画の立案・調理室の衛生管理
畠係	畠の管理・作物の栽培計画・実施、苗や種の発注
生き物係	生き物の飼育管理及び計画実施・備品発注

### 〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
運動会係	運動会実施に関わる取りまとめ
親子遠足係	親子遠足実施に係る取りまとめ

## 4.保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	・新しい環境に慣れ、生活のリズムを作る ・保育者との愛着関係を築き、安心して過ごす
	下半期 0～1歳児	・保育者に気持ちを受け止めもらい、思いを表現する ・保育者との関りや活動等を通してやりとりを十分に楽しむ
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼

保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月27日と11月28日に実施予定

## 〈2〉 年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉 給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	食の循環を知る
	実践予定内容	畠仕事をしていく中で収穫することが出来た野菜を食べる事でありがたみを知る。また、生死を知り魚の解体を体験し食べ物を大切にしする。苦手な食材を減らしていく。
2	計画・ねらい	空腹になるまで戸外活動を楽しむ
	実践予定内容	戸外で体をめいいっぱい動かしお腹が空いたことにより好きな食材をよりたくさん食べ栄養をつける。職員が盛り付ける事もするが慣れてきた時には自分で盛り付け配膳をおこなっていく。
3	計画・ねらい	コンポスト作り
	実践予定内容	コンポストとは何か何に使う事が出来るのかを伝え、子ども達と共に肥料を作る。

## 〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月18日・11月26日）
歯科検診	該当なし
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い・うがい指導
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス・インフルエンザ 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6月頃…手足口病、アデノウイルス

	12月頃…嘔吐下痢、インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…1名より預かり済み/冷蔵庫内にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在7名が、研修受講し、修得済み
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	AED未設置
その他保健に関する取組	嘔吐処理・オムツ替え手順研修等を必要に応じて実施

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回/4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回/6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回/15日
	不審者侵入訓練	年2回/6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回/5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回/4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表/毎日	毎日
	衛生管理点検表/毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表/毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿/毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回/5日/全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認/ 保険証期限確認	年2回/4・10月
	身長体重測定	毎月1回/20日
	児童健康診断	内科健診 年2回/6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回/4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子ども自ら遊びを選択し、遊び込める環境づくりを目指す
	実践予定内容	ゾーン保育を実施し、子どもが遊びを自由に選択し夢中になれるよう園会議にて定期的に見直しを行う
3	計画・ねらい	様々な方法で表現する心地よさを感じ、受け止めてもらえる関係性を築いていく
	実践予定内容	成長に沿った表現方法を習得できるよう、歌や絵本、絵画表現等子どもも自ら発信できる素材を提供し表現する面白さ楽しさを感じられるようにする

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定期間
1	電車レール台	乳児・保育室	毎日

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	防災	毎月15日に避難訓練を実施し、避難経路や流れの確認また、持ち出し袋内の点検や実際にさらしおんぶ、懐中電灯の点灯等をし使用確認を行う。
2	怪我・事故防止	自園のヒヤリハットや法人内の事故記録簿を活用し情報共有や周知事項の確認を行い、怪我や事故防止に努める。
3	見失い防止	室内では、薬剤や危険カ所は必ず施錠をする。戸外では人数確認リーダーは明確にし、ビブスを着用する。園外人数確認表を記載する。
4	防犯	不審者侵入訓練実施(年2回)散歩中や散歩先での対応もスタッフ間で共有
	ハザードマップ	年4回(4月・7月・11月・1月)見直しをする。危険個所や道路状況の変更をその都度見直しを実施する。
6	光化学スモッグ	注意情報発信ツールを利用し注意報発令時は室内活動に変更する。

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

地域におけるボランティア学生の養成と共に、次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために実習生、研修生を積極的に受け入れる。

1	小中高生の育児体験・ボランティア受け入れ	夏休み、冬休み等の間に、気軽に園に来訪し学習体験が行えるよう受け入れを行う。
2	保育養成学校の学生受け入れ	保育養成学校に通う学生の実習が行える環境にし受け入れを行う。
3	ボランティア受け	ボランティアの受け入れを積極的に行い。保育や福祉の現場に興味関心

	入れ	を向ける。
--	----	-------

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉 2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月18日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②ハザードマップ見直し ③戸外活動時人数確認ロールプレイ ④人権チェック・虐待防止	自身の振り返り、ハザードマップの見直し、戸外先の危険予測や散歩時の人数確認のロールプレイ等
5月16日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②さくらさくらんぼリズム研修	自身の振り返り、リズム体操の意味や動きの確認ディスカッション等
6月20日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②水遊び・プール研修 ③環境見直し	自身の振り返り、水での事故やプールの流れを確認しロールプレイ等
7月18日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②園長大学動画視聴 ③ハザードマップ見直し	自身の振り返り、定期的なハザードマップの見直し、保育環境についてのディスカッション等
8月15日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②マニュアル確認	自身の振り返り、フローチャート等見直しをする
9月19日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②環境見直し	自身の振り返り、子どもの成長にあわせた環境の見直し等
10月17日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②ハザードマップ見直し ③園長大学動画視聴	自身の振り返り、定期的なハザードマップの見直し、動画視聴を行い新たな学びを得る等
11月21日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②嘔吐処理 ③園長大学動画視聴	自身の振り返り、嘔吐処理のロールプレイ、動画視聴を行い新たな学びを得る等
12月19日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②マニュアルの確認 ③環境見直し	自身の振り返り、フローチャート等の見直し、子どもの成長にあわせた環境のディスカッション等
1月23日	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点	自身の振り返り、定期的なハザード

		②ハザードマップ見直し ③園長大学動画視聴	マップ見直し、動画視聴を行い新たな学びを得る等
2月20日	18:00～20:00	第1回策定会議	顔合わせ・次年度の園目標作成等
3月1日	9:00～18:00	第2回策定会議	次年度年間行事決め・畠づくり等

エリア研修予算内訳（6園合同開催）

開催日	予算	予算の内訳		6園で按分した自園負担額
4月12日	0円	講師代（交通費含む）	0円	0円
		個人負担費	1600円	
11月8日	7,700円	講師代	6,200円	0円 板どり/大山/中板/成増/東練/バジ
		講師交通費	1,500円	
合計	7,700円			0円

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

### 〈3〉法人支援制度の活用・出席

#### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

### 8. 地域交流計画

#### 〈1〉今年度方針・テーマ

月1回の取り組みの中で地域の方々との関りを持ち、地域に開かれた保育所として地域の子育て支援向上に貢献する。

#### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
青空保育（保育園主催）	月1回第2月曜日 公園名：交通公園横広場にて 集客目標：20名
商店街ツアーア	週1回毎週木曜日
世代間交流	クローバーのさとにて高齢者の方との交流(月1回)
異年齢交流	近隣系列園との交流や近隣小・中・高校生などの職場体験、実習生の受け入れを行う
地域拠点活動	ちきんえっぐ(月1回土曜日)・青空保育(月1回第2月曜日)

### 9. 小学校との連携の計画

該当児なし

### 10. 要支援児計画

該当園児が在籍した場合、以下の通りに実施いたします。

#### 〈1〉個別支援計画の作成・見直し

子どもの状況に応じた保育を行う観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための個別支援計画を作成する。

#### 〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定)

毎月の園会議時に開催し、該当園児の生活の様子や保育士の援助方法の認識を合わせていく。

### 〈3〉進級引継、および、小学校への引継

進級引継ぎは書面を用いて子どもの様子を共有する。

## Ⅱ. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細	
園開放	(月)～(土)	9:30～16:30 集客目標：20名
子育て相談	(月)～(土)	13:00～16:30 集客目標：20名
ちきんえっぐだより	毎月1日発行	
青空保育（支援センター主催）	月1回	公園名：交通公園横広場にて開催 集客目標：20名

## Ⅲ. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 〈2〉園による自己評価の実施

2025年1月23日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：15時00分

自己評価終了予定時刻：18時00分

自己評価実施予定者：施設長、当日勤務スタッフ

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## Ⅳ. 3カ年計画の具体化

### 〈1〉昨年度の振り返り

3月末まで	重点施策	定員満床を安定させ安心安全な保育園
-------	------	-------------------

に目指した姿	振り返り	10月より20名定員が埋まり、4月と比較するとになった。自分がやりたいことに、自ら取り組み遊びを広げる姿も見られるようになった。
--------	------	--

## 〈2〉 当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	日課が定着し、生活力のある保育
	重点施策	子どもの気持ちを受け止めながら子どもの自主性と主体性が育つよう見守る。異年齢で生活する中で子ども自ら選択し行動できるようにしていく。
2026年度	目指す姿	地域に見守られる保育園、保育支援施設になる
	重点施策	地域との関りを積極的に持ち、地域の子育ての拠点となる。青空保育やちきんえっぐ等の開催の案内を掲示しいつ誰が見ても分かるようにお知らせをする
2027年度	目指す姿	認証園を知ってもらい地域一明るい園を目指し、地域に開かれた園になる
	重点施策	常に20人定員の園として、周辺施設へパンフレットを設置してもらい募集ポスターを見える場所へ掲示する

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピングズ 中板橋ルーム 施設長 小笠原 可南子